









# 地方版

## 地方の要聞 當局の意向

### 南鮮地方には 廣い牧野がない

雄基軍馬補充部の移轉  
單なる噂にすぎぬ

南鮮地方には廣い牧野がない。雄基軍馬補充部の移轉、單なる噂にすぎぬ。南鮮地方には廣い牧野がない。雄基軍馬補充部の移轉、單なる噂にすぎぬ。南鮮地方には廣い牧野がない。雄基軍馬補充部の移轉、單なる噂にすぎぬ。

### 論山川改修擴張

馬山府の興行稅改正

馬山府の興行稅改正。馬山府の興行稅改正。馬山府の興行稅改正。馬山府の興行稅改正。馬山府の興行稅改正。

### 海女の居住權

慶南の協定案を提げて 水産課長乗り込む

慶南の協定案を提げて 水産課長乗り込む。慶南の協定案を提げて 水産課長乗り込む。慶南の協定案を提げて 水産課長乗り込む。慶南の協定案を提げて 水産課長乗り込む。

### 解雇されたのを恨み 一家を殺害を企つ

つひに死刑の判決。つひに死刑の判決。つひに死刑の判決。つひに死刑の判決。つひに死刑の判決。

### 倉庫の火災

放火の疑ひ。放火の疑ひ。放火の疑ひ。放火の疑ひ。放火の疑ひ。

### 天國鐵道の 實地測量隊

龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。

### 紀元節を期し 府が勸行宣傳

府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。

### 江原道の新設水組

安東の水源地擴張。安東の水源地擴張。安東の水源地擴張。安東の水源地擴張。安東の水源地擴張。

### 金倉道路の補助陳情

補助陳情。補助陳情。補助陳情。補助陳情。補助陳情。

## 地方

### 水から救はれる 十萬市民大喜び

安東の水源地擴張。安東の水源地擴張。安東の水源地擴張。安東の水源地擴張。安東の水源地擴張。

### 江原道の新設水組

安東の水源地擴張。安東の水源地擴張。安東の水源地擴張。安東の水源地擴張。安東の水源地擴張。

### 金倉道路の補助陳情

補助陳情。補助陳情。補助陳情。補助陳情。補助陳情。

### 天國鐵道の 實地測量隊

龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。

### 紀元節を期し 府が勸行宣傳

府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。

### 倉庫の火災

放火の疑ひ。放火の疑ひ。放火の疑ひ。放火の疑ひ。放火の疑ひ。

### 天國鐵道の 實地測量隊

龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。

### 紀元節を期し 府が勸行宣傳

府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。

### 倉庫の火災

放火の疑ひ。放火の疑ひ。放火の疑ひ。放火の疑ひ。放火の疑ひ。

### 天國鐵道の 實地測量隊

龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。龍井地坊間の實地測量。

### 紀元節を期し 府が勸行宣傳

府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。府が勸行宣傳。

### 倉庫の火災

放火の疑ひ。放火の疑ひ。放火の疑ひ。放火の疑ひ。放火の疑ひ。



湖南の早春 柳里風景

### 海州の遺蹟と古美術

白井源平 (一)

白井源平 (一)。白井源平 (一)。白井源平 (一)。白井源平 (一)。白井源平 (一)。

## 講談俱樂部

### 妖

大傑作揃ひの三月號

絶世の美貌 由美子の運命!!

戀愛小説 菊池寛

母の愛に哭く 洋書家 龍門氏

怪盜征東將軍 前田 暁山

古賀聯隊長

女優泰子の裁判

番外反魂香

小説 春の微風

小説 鼠小僧次郎

小説 清水次郎長

小説 小間使以上

小説 落語 屋無間

小説 心の中の太陽

吉か? 凶か? 老當家の心を惑はす少女の美貌

映画スリ 家庭訪問

名流花形快談集

新民謡新選集

早くお求め下さい!!

社談講會辯雄本日大 郷本・京東 所行發





外 號

發行所 京橋太平通一丁目  
合資會社 京城日報社  
光化門長四百番  
振番京城三〇〇  
編輯兼發行人 兒島吉治  
印刷人 小川三之介

七日午後五時半を以て

『東京電報』末次第○艦隊司令長官發海軍省着「本艦は○戰隊水雷艦隊を率ひ七日午前九時四十分○吳越下流約十三哩に到着、野村第三艦隊司令長官未着の故を以て一時同方面所在部隊を指揮す、我陸戰隊は日清汽船長陽丸官陽丸に分乗、驅逐隊掩護の下に午前十時十分泊地を發し潮航一船はノーステッド鐵橋に横付け午前十一時四十分上陸完了す、陸戰隊は直に同方面の策戰に策應する中、これより先上海陸戰隊より派遣の裝甲自動車七臺と合し今や苦力區をさへ續んで交戦中。水雷戰隊○乘船中の陸兵は逐次驅逐艦に移乗避難せしめ第一次上陸部隊午後二時四十五分無事同様橋より上陸し後糧部隊これに續きつゝあり、午後五時三十分全部上陸を完了し得たり、日下の處苦力區渡河をなし得ば午後の進捗比較的容易ならん、本日朝來北風の細雨ときき雪を交ゆ

陸兵來着の報に

【上海七日路透電】我陸軍の司令部は新公園前に、兵舎は某所に決定

徹底的に○擊開始

『上海七日發至急報』陸軍隊本部は今朝本都附近の黃龍路、朝日街、寧樂安路、北四川路附近に居る邦人約一千名に對し今朝急遽北部小學校に引揚命令を發したこれは植松陸戰隊指揮官の新作戰により我軍行動を徹底せしめるためで敵の惡天候を衝いて邦人は江口方面に引揚げた。午後には未會令の大爆撃を開始される筈でまづ午前時五十五分我野砲隊面に對し『撃ち方止めツ』の命令が下ると共に○○機○○台は一齊に出動し南北方面の敵艦に對し爆撃を開始した。時恰かも粉雪降り視野せま〇敵軍の上空三百メートル位の低空飛行をなして盛んに爆彈を投下しつゝあり壯烈を極めてゐる

國際航路の障害全く除かる

【上海七日發至急電】我軍は午後三時吳淞鎮を占領、城内門高く日章旗を揚げた。これより先第二、第四戰隊は午後二時過ぎ吳淞砲臺附近に大部隊をよ陸せしめ、全砲臺を占據し國際通路の障害を完全に除去し淞吳城をも三時半占據した。

よく効を奏して

[illegible]

陸戰隊前進繼續中

「上海七日戦終つて午後一時十分我軍〇〇敵艦數艘を撃つた空を断つて敵砲を潰した。如きは良き方だ、中島君御注意敵陣に命中した。炸弾毎に支那兵は土煙りと共に吹き上げられた。次いで一隊を空を断つて曲り敵艦は又敵陣に建物を潰した。この敵艦に敵は吾國海軍に第一の強敵を對し神興與治第一敵艦四隻の空を断つた陣地又も吾國に懸つたが、此は停車場裏面の陣地に懸つた、艦が又曲り敵艦〇〇は遠く手馴れたが、敵砲三十三發敵中へ放つた。零時半まで我軍に即死三發傷七を出したを我軍の傍助下に照應する中、半鐘に際し、橋梁の弱き我がこれに渡りんとすれば直ちに河中に墜落するの如く仕かけおり、我軍は苦戰を經てつた。

海七日發電】午後二時我空軍は霧を開始した、○擊終了と共に野砲

○撃の正確さに  
英國將校も感服す  
沈着なる負傷航空兵  
「上海七日夜發生」七年四月九日、敵機中であつた〇〇の撃破は頗る驚異的であつた。この時、敵機は

我軍中止を要求す

○軍の止進には威感する、と誓つてゐた熊失、米武官は日本の陸州でも出来ぬ、蘇州河沿道に這つたら一度はおれ達の請ふに今から手は懸いてゐる地所が多い

外相陸相協議

【東京密電】 芳澤外相は、廿四午後二時、陸相内閣を官邸に訪問し、共同の北支問題に付き、留置電を打ひ午後二時十分辭去した

我軍中止を要求す

「電報局長馬尾龍太郎」六日朝來支那軍隊約一千餘名馬、數千頭砲數挺有、有す。浦口より南京に移動せるを以て、支那艦隊との衝突を目前に移す必要を求めると云ふ。その間には南清準備の各公使館の駐在官吏が、来るものとして北清海軍の移動を以て賞ものと賞品として、南清に力を費する。上海に對する増兵の準備ともいられるにつき、狀況に依つてはこれが阻止せし手段に出づるの己むなき時期至るやと知れず、間方面からして重慶の發生は止むては、支那の士と會するに以て、敗戦の兵の移動中止せざるを込めての

自双の覺悟

曲射砲で猛撃した  
石渡野砲隊の武勳

曲射砲で猛撃した  
石渡野砲隊の

[illegible]

「『日本経済新聞』」田中が「日本経済新聞」

百名明日以後に引揚げるもの一  
五百名で郵船では香取、大津、  
阿、上海丸を配船したが、目下  
ところ離民はこれ以上は増え

東京電報 芳澤外相は七日午

同前其他時局に付き重要國情を  
午後二時十分罷去した

中点を要求す

日朝來支那軍隊約二萬有餘人浦口より南京に上るに當り、その不適合を爲め移動中止を要求せられた。この爲め、日朝軍は浦口より南京に上るに當り、その不適合を爲め移動中止を要求せられた。この爲め、日朝軍は浦口より南京に上るに當り、その不適合を爲め移動中止を要求せられた。

見五

猛撃した  
野砲隊の武勳

猛撃した  
野砲隊の

其の第(三)に決定した石炭礦の多  
少は日本国の煤産の處には左の如  
く、エジプトが傳へられてゐるそ  
れは昨日一日の煤産の量に比し、  
幾ばに堪へなかつた。役員は一日進  
む上、陛下下敷の案牘に申上  
るまでも進捗して數分動降せば自  
然と進捗する。然れども、然れども  
めて歐に申出たので大財。思ふに  
分の武勳を斷かし得たのである。



畏くも嘉せらる

皇軍の哈市占據に

御電報を軍司令官宛に賜はる

二、樂天(日清戰)開戦詔勅に於て陛下は、四多門の戦のハルビンに占領し、同日六日には俄爾常館を左の地盤を奪つた。

御利益を蒙つた。俄爾常館に兵隊を駐留せる隙に對し、貴國が魚腹を侵し、困害に計を算ずるを以てよくこれを察し、以て帝國に對して大なる害を完全なる患たるは上に述べた如くを總括するところとなつたに、先づ以て、貴國に對しては出動した兵隊を對し、貴國の同盟者對する。今、時局嚴重を加へんとするに、貴國の兵一同の自軍開戦を断りて止まず。

陸相より激勵電報

軍司令官に對し左の激勵電報に寄せた。

一月廿八日哈爾濱方面を佔ぐるや貴軍は遠征適應の聲望に用ゐられ、輪流機關の不備其他幾多の困難を悉く以て速に其の目的を達せられたるは貴國の深遠なところなると共に之が爲め生ずる戦費に對し厚き同情を表す。今や極東當局の深遠視を重大化せんとする切に貴兵一同の健康を祈る。

回復に力を注ぐ

多門○團長、省長や  
馬占山と協議を遂ぐ

【ハルビン日報傳】多聞、勸長本午、則九時諸議員、其館に於て、黑龍江長銀景と會見、ハルビン總督府政廳管内における治安維持に當る議を述べた後、午前十一時より馬占山と會見、今後の對俄方針につき打合せ終局、隨て手を注ぐこととなつた。

合國諸報、東京に於て、過日し

伏見部長宮殿下の

御勵精に士氣昂る

日曜日も押しての御出勤に

海相以下恐懼感激す

『東洋叢書』一、伏見大宮と海軍省、今御所の御所に御遊幸であらせられ、早くも六日の日が持つた。陛下は時分まで御廟様にいらした。ついで三日月に奉迎下けさせると正午で端止の御所を海軍省前庭に至り、那にお預けになり、翌朝八時半、省内外を御遊幸し、配士官や衛兵に統制された様子を御覧になつて、午後九時半には御本館に重要要務の御断念にお入り遊ばせられた。こうした殿下の御断念が、一段と皇室内外の空氣をためたのである。今日も勢は日趨と抑ちせられ、午前十時登壇し上海の新聞その他に眼を通されたい対象とする他の事業と御位置あはれたが、日曜も押しての御遊幸に大分相以下は御断念に本音が暴露感ぜられてゐる。

海倫上空で猛撃し

敗殘兵を叩きつける

馬占山と懇談

續傳倫の上意にて敗殘兵數の密  
偵察隊が海軍地方に向け進出する  
を諷見、直ち王空山より急報を  
攻勢を加へる役時生歸附した。  
その報告によつて敵は多岐に散  
害を起し、聖の力を散らし去ら  
れた。

（ハルビン）（陸軍）（多門）  
は七月午後一時三十分、蒙古を更  
練兵頭を以て推戴した。蒙古を閉  
き時局問題につき戦議した。際上  
馬白山は陣中より親率諸將を擁護  
に努力し、東洋の陣中直に自ら事  
務を述べ、和を説き、後に幾時  
附會

敵の壘附近は  
猛火の海と化す

砲彈の集中攻撃

支那側拒む

英東洋艦隊司令官の  
停戰條件を不満とす

「上海に於ける」英國東洋銀行總司理人氏が提督及總領事フナヘン氏に七年間及一時、時々、英領領事、郭元帥及第九路軍總司令と會見、密接關係として、日本國の現在地位に留るる上海ととり上海に南星にも

軍事參議官會議

陸海聯合で十日開催

**南京の戦備**  
蘇州邦人漸く  
脱れ出て語る  
【上海七日電】安部氣つづは  
重慶方面に來て十日、使二三年  
上り、陸軍部及び於て陸軍倉庫重  
要部を視察し、開き、國幣元庫  
伏、梨木樹大野營倉庫下を始め  
奉り大向、東へ、武池、各陸軍  
軍事機密を暴露、陸軍重鎮より  
海軍及び空軍策劃ルビシ  
面の戦勢を察行て、勝算を求む

補候立國全  
別派黨◇

—在現日七—  
(出國の這時六後午)

民政友會	三五・一
民政黨	二六・〇
社民黨	一五
大衆	一三
革新クラブ	一三
安達派	一三
中立其他	三四
計	六八九

東支鐵道  
身賣りか

權利だけで  
八千萬金拂

[illegible]

勞農軍縮代表を  
暗殺の計畫發覺

白衛軍つけ狙ふ

[illegible]

立遅れの民政  
黨公認候補

十八日

本外號は再録せず